

横暖ルーフα

工法

重ね葺き

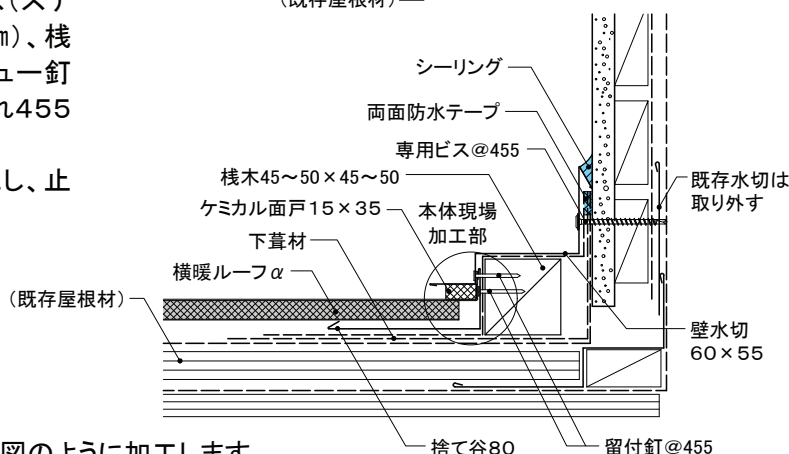
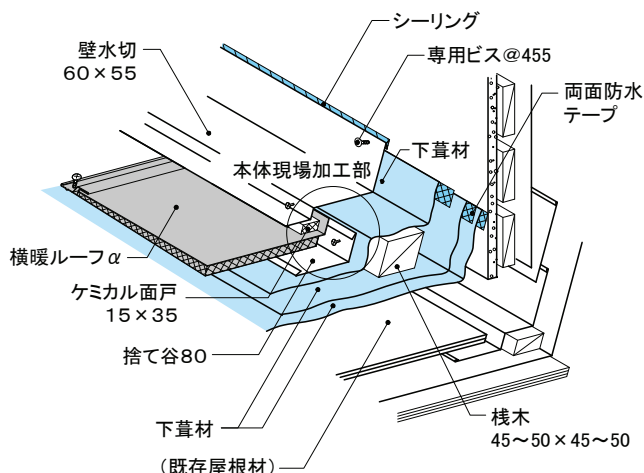
既存屋根材

セメント系新生瓦
アスファルトシングル

9) 下屋根部

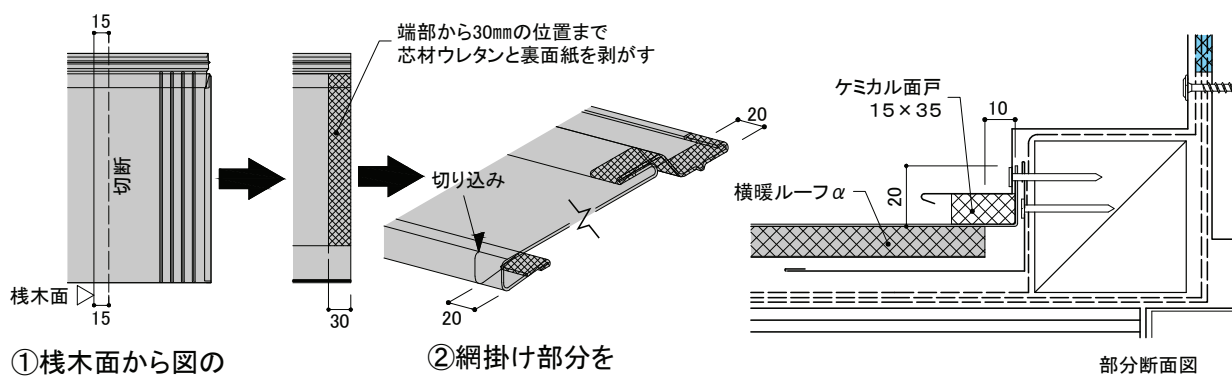
①流れ側 壁水切60×55+捨て谷80

- 既存屋根材に、下葦材を張ります。(下葦材の壁止まり部は必ず既存壁まで立ち上げ、両面防水テープで留めてください。)
- 桟木45～50mm×45～50mmを取り付け、桟木を包むように下葦材を増し張りします。
- 捨て谷80は留付釘(ステンレススクリー 釘長さ32mm以上)を用いて455mm以下の 間隔で桟木に留め付け、図のように加工 した横暖ルーフα本体を施工します。
- ケミカル面戸15×35は図のように貼り 付け、壁水切60×55をかぶせるように 施工します。既存壁には専用ビス(ステ ンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)、桟 木には留付釘(ステンレススクリー 釘 長さ32mm以上)を用いて、それぞれ455 mm以下の間隔で留め付けます。
- 壁水切上部にはシーリングを施工し、止 水処理を行います。



■施工ポイント・現場加工図

- 横暖ルーフα本体の壁付部分は、図のように加工します。



①桟木面から図の寸法で切断します。

②網掛け部分を切り落とします。

③切り込みを入れた部分から垂直に起こします。

④Rの部分をつぶします。

次の横暖ルーフα本体の取り付け前にシーリングを充填する

本体取り付け後、シーリングを充填する

⑤接合部から雨水の浸入を防ぐためシーリングを充填します。